

事務事業名		22400 農業振興事務費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	振興班
② 幽学の里で米づくり事業			一般	6	1	3		<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 (重点施策) 重3	
基本施策		17 交流の促進	根拠法令	旭市補助金等交付規則					
施策の展開		31 交流事業の促進	戦略事業	148 幽学の里で米作り交流事業					
施策の展開			戦略事業						
				<input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画					
				<input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画					
				<input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想					
				<input type="checkbox"/> 主要事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・国指定重要文化財である大原幽学ゆかりの水田(幽学の里)での米づくりを中心に都市住民との交流を図る。また、市の観光資源、豊富な農水産物をより多く知ってもらうことで、旭市の認知度を上げるとともに、市のイメージアップを図る。また、継続的な来訪及び市の産品の売り上げ向上による経済効果を狙う。 ・地元生産者が都市部の消費者と交流を図ることで、消費者の求めるニーズの把握、新たな顧客の確保につなげる。 ・事業実施団体は「旭市都市農漁村交流協議会」で、市内の生産者や食育関係などの会員で構成し、会員数は40人。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
遊休農地となっていた大原幽学ゆかりの水田(国指定重要文化財)を活用し、都市部住民との交流を通して、旭市の農水産業・歴史・観光等の発信を行う。	開始から1年目を向かい、参加者も例年予定数に達しており、成熟段階に入っている。単なる米作り交流に限らず、幽学の歴史や観光の発展、食の安全・食育に関するテーマのイベントを平行して実施しているが、震災の影響や安全面への配慮により当該事業への参加を見合わせている団体もある。また参加団体において団体統合などにより、参加団体数が減少しており、体験農地の約半分の面積が余剰となっている。協議会委員の高齢化が問題となっているため、今後は新たな事業展開を模索しながら、新規会員(若手)の加入促進の必要がある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
現在、受入側の組織「旭市都市農漁村交流協議会」の会員はわずかながら年数入の賛同者が加入しているが、各イベントに対して協力いただける会員は減少傾向にあり、新たな事業をかけるなど協議会自体の体制の強化を図っている。また、事業対象者からは「会員(従事者)の増員(若い生産者、職種のバリエーション)」や「従来のイベント内容の充実」を求める声とともに「参加者を飽きさせない新しいイベントメニューの取り組み、開発が必要な時期」との意見が出ているところがあるが、アイデアだけでは実現が難しく、人員や経費の面で調整や課題が難しいのが現状である。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円		単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1. 幽学の里で米作り交流事業補助金 1,090		千円	1,000	1,000	1,000	1,090	1,250
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円							
1. 国庫支出金 0							
2. 都道府県支出金 0							
3. 地方債 0							
4. その他 1,090		地域振興基金繰入金					

前年度増減理由	賄材料費増のため
---------	----------

従事職員数	常時 2人	最大 12人	× 10日	= 延べ 120人
-------	-------	--------	-------	-----------

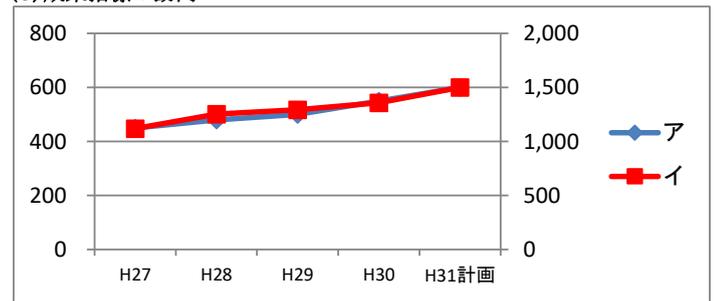
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア イベント実施回数	回	14	14	14	14	19
・大原幽学での米づくり交流事業 ・視察研修 ・役員会議	イ						
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
対象 ・東京都民、千葉県民、埼玉県民 ・旭市民	ア 旭市の農水産物を購入(消費)した参加者	人	450	480	500	550	600
意図 ・参加者に「旭の農水産物や食」に対する関心をもってもらう。	イ イベントへの参加延べ人数	人	1,119	1,252	1,292	1,358	1,500
対象 交流イベント参加者							
意図 ・参加者の満足度を向上させ、更なる交流の促進を図る							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	かなりある			
	小さい	ある程度ある			
		ほとんどない			
			①	②	③
			④⑤	⑥	⑦⑧
			⑨	(4)	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ <input checked="" type="checkbox"/> 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 成果指標のタイプ <input checked="" type="checkbox"/> 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 内容 都市農漁村交流事業を通して、都市部住民へ旭市の農業・歴史・観光等についてPR出来るよう、イベント内容を工夫する。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()
年5回(8月を除く偶数月)	市川市大洲防災公園における朝市に参加することで、旭市の農産物を都市部の消費者へ直接対面販売することにより、旭市のPRと「都市と農漁村の交流」の更なる推進を図ることを目的とする。